令和６年度
丹波地域　まちの自慢発信事業

小学校
ふるさと学習
紹介

丹波篠山市立　西紀南小学校
丹　波　市　立　和田小学校
丹　波　市　立　三輪小学校

兵庫県丹波県民局・兵庫県教育委員会丹波教育事務所

協力：丹波篠山市教育委員会・丹波市教育委員会

西紀南小学校では、「地域を愛し、地域の未来を創りだす　みなみっ子」をテーマに、

地域とのつながりを大切にしたふるさと学習にとりくんでいます。

町探検「まちがだいすき　たんけんたい」（2年生）

２年生は生活科の学習で西紀南小学校区にあるお店見学に行きました。自分たちで地域にあるお店や普段お世話になっている人を思い出し、自分たちで見学先を決めました。４軒のお店に協力していただき、グループにわかれて見学に行きました。店内の様子や実際に作業されている姿を見せていただき、子どもたちの疑問にもたくさん答えていただきました。子どもたちは地域で働く方々のすばらしい技術や人柄にふれ、これまで以上に自分たちの住む町を知り、地域をより大切に思う気持ちが育まれました。

黒豆栽培「黒豆マイスターから学ぶ黒豆教室」（3年生）

３年生は、毎年黒豆教室を行っています。西紀南小学校区におられる黒豆マイスターの方に教えていただき、種植えから収穫まで１年間を通して黒豆について学びます。初回の黒豆教室では丹波篠山市の黒豆を食べてみることで、自分たちもみんなにおいしいと言ってもらえる黒豆を作りたいという気持ちが芽生え、助け合いながら作業に取り組んでいます。全国でも有名な丹波篠山市の黒豆を実際に作ってみることで、自分たちの住む地域の魅力に気づき、自分たちができることは何かを考えるきっかけとなりました。

川探検「丹波篠山の大切な生き物を知ろう」（4年生）

西紀南小学校区を流れる宮田川には、多くの生き物が生息しています。初夏には蛍がたくさん舞い飛ぶ美しい様子が見られます。４年生は宮田川に探検に行って、どんな生き物が生息しているのかを調べました。地域のエコティーチャーにも来ていただき、カワムツやヨシノボリといった魚や、コオニヤンマやコヤマトンボのヤゴ、スジエビやヌマエビなど 14 種類の生き物を見つけることができました。自分たちの地域の川を身近に感じ、きれいな川を守っていきたいという思いが一層強くなりました。

地域遠足「校区を歩いてふるさとを学ぼう」（全校生）

西紀南小学校区には、歴史や文化について学べるところがたくさんあります。秋には、学校運営協議会のみなさん、地域・保護者のみなさんと一緒に校区を歩きながら、ふるさとについて学ぶ「地域遠足」を実施しています。令和６年度には、低学年は黒田地区にある側溝の生き物探しと大けやきの見学、中学年は川北地区のグループホームやプリン屋の見学、弥勒堂での講話、高学年は西谷地区の歴史探訪をしました。普段何気なく通り過ぎるところに貴重な文化財やすてきなお店があることを知りました。校区の「おたから」について、地域の人から直接教わることで、ふるさと西紀南への愛着がわきました。

丹波市立和田小学校

人に学ぶ 町に学ぶ 歴史に学ぶ

地域の「人」「もの」「こと」にふれ
ふるさと和田への愛着や誇(ほこ)りを育みます

和田地区は、岩尾城の城下町として栄え、現在では、薬草、花木栽培(さいばい)、釣り具生産など特色ある産業が発展し受け継がれています。豊かな自然、地域資源、愛情あふれる地域の人々に包まれ、子どもたちは毎日の学校生活を楽しんでいます。特に、校舎の北側には、明治33年、全国に先がけて作られた『校山園』が広がり、里山の中を元気に駆け回る子どもたちの楽しそうな声が響(ひび)き渡っています。

1年生 むかしあそび

ちいきのおじいちゃん・おばあちゃんに、けん玉やこままわし、あやとりやおてだま、竹とんぼやはごいたなど、むかしからつたわるあそびをいっぱいおしえてもらったよ。たくさんのあそびの名人とあそべて、とてもたのしかったよ。

2年生 まちたんけん

和田のまちには、どんなお店やはたらく人がいるかな？みんなでたんけんしようよ。自動車しゅうり工場やちゅうざいしょ、こども園に薬草薬樹公園。おしごとの楽しさやたいへんさ、おしごとをしていてよかったことなど、たくさんインタビューができたよ。

3年生 川たんけん

地いきを流れる川にたんけんに行ったよ。あみを使って川にすむ生き物をたくさんとったよ。どんな種類の生き物がどのくらいいるかを調べることで、水のきれいさがわかることを教えてもらったよ。めずらしい生き物もとれたよ。きれいな川を守りたいと思ったよ。

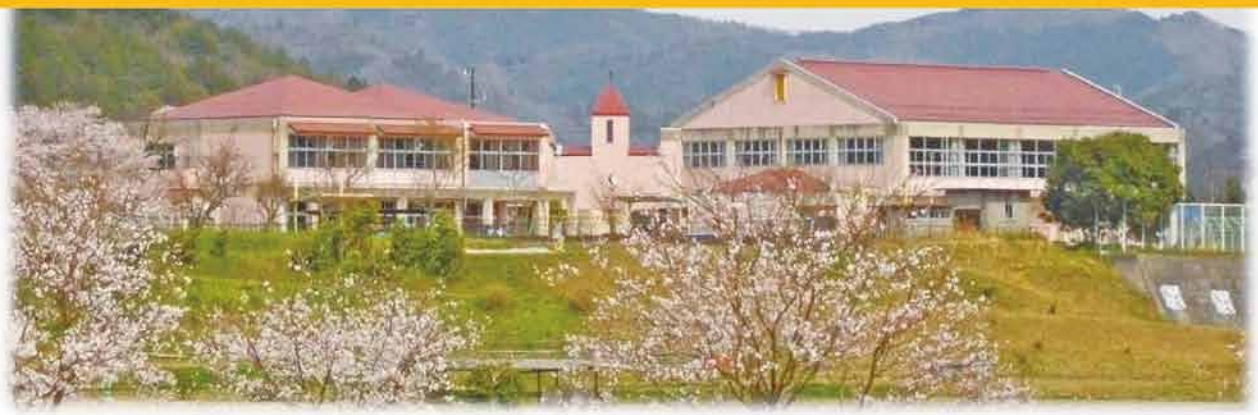
4年生　地域の特産

　和田地域では、江戸時代から薬草の栽培が盛んに行われていました。今でもトウキやセネガなど生薬原料を栽培している産地として知られています。私たちは、地域の人に教えてもらいながら、この地の特産のひとつ、トウキを摘みとって乾燥させ、毎年行われる「山南和田漢方の里まつり」に参加して、トウキの手湯・足湯をお客さんに体験してもらい、薬草トウキの効果や和田地区の魅力を伝えました。
　また、正月飾りにも使われる若松の畑も見学させてもらいました。この地の気候や風土が若松の栽培に適しているそうで、日本三大産地のひとつとされています。種をまいてから出荷するまで４年をかけ、大切に育てられていることや地域の特産をこれからも残していきたいという作る人々の願いを知ることもできました。

5,6年生　歴史に学ぶ

　学校の近くに「さみやさん」の通称で親しまれている狭宮（さみや）神社があります。この狭宮神社は、兵庫県の有形文化財にも指定されていて、美しい本殿の姿を毎年６年生が図工の時間に絵を描きに行きます。
　今年は、屋根のふきかえ工事が行われるということで、その現場を見学させていただくことができました。檜皮葺（ひわだぶき）と言われる手法で、千数百年前から日本独自で発展してきた技術であり、この技術がユネスコの無形文化財に登録されていることも教えていただきました。
　現地では、桧（ひのき）の皮を、見たこともないような大きな包丁を使って形を整えている職人さんの作業の様子を見たり、金づちで竹釘を使って屋根をふいていく体験もさせていただいたりしました。口の中に竹釘を含んで次々に打つ職人さんのスピードの速さに驚きました。竹釘は、檜皮葺には欠かすことのできない材料で、私たちの住む和田地区で作られているそうです。竹釘を製造する業者は全国で唯一ここだけだそうで、この地域に伝統技術を支えている人がいるということを聞いて、もっと詳しく調べてみたい、もっと地域のことを知りたいと思いました。

豊かな自然とふるさとの人々に囲まれて育つ三輪っ子



美和地区の自慢と言えば、なんといっても豊かな自然です。子どもたちも、その良さを感じています。地域の方々のおかげで、毎年貴重な体験活動をたくさんさせていただいています。

田植え、稲刈りの体験をしました。はだしで田んぼに入ったり、鎌で稲を刈ったりするのが初めての子どもたちが多かったです。泥に足を入れた感じや、ざくざく切る音など、体験したからこそ感じることができました。取れたお米は、おにぎりにしておいしくいただきました。

黒豆の種まきから体験させてもらいました。苗を育てて、畑に植えました。水をやりすぎないことやこまめに草引きをすることなど、コツを教えてもらいました。でも、植えた苗を鹿に食べられてしまって、自然界の厳しさを知りました。秋には地域の方が植えてくださった黒豆を収穫させていただきました。枝からさやを取るのが大変でした。

川探検をして、美和地区の川に住んでいる生き物について調べました。貴重な生き物もいて、ゲストティーチャーの宮川さんにくわしく説明していただきました。見たことのない生き物を捕まえることができました。

３年生は、総合的な学習で美和の自慢を見つけます。たくさんの場所を教えてくれますが、高見牧場は子どもたちの自慢の場所の一つで、毎年、見学に行きます。おいしいお肉になるように、いろんな工夫をしておられることがわかりました。

里山探検では、山に入ってキノコを探します。この頃は夏が暑すぎたり、雨が少なかったりして、キノコの種類が少なくなってきているそうです。それでも 20 種類以上のキノコが見つかりました。

夏野菜やさつまいもを収穫したら、地域の方が一緒にクッキングをしてくださいました。夏野菜はピザ、さつまいもはどらやきにしました。自分たちで作るとおいしくて、もりもり食べました。

毎年、５，６年生は地域の方と一緒にしめ縄づくりをします。自分が作ったしめ縄を家の玄関に飾ります。縄をなうのにはコツがあって、６年生は２回目なので上手になうことができました。

３学期初めには、地域の方と一緒に餅つき体験をしました。杵つき餅を食べたことがある子は少なく、つきたてのお餅は特別おいしく感じました。みんな何回もおかわりをしました。

令和６年度　指定校の学校紹介

丹波篠山市立西紀南小学校

教育目標　自ら考え、進んで学び、未来を切り拓く児童の育成
～もっとチャレンジするみなみっ子～

創　　立　明治６年（黒田学校として開校）

児 童 数　８５名

特　　色　地域とともにある学校としてふるさと教育を推進し、黒枝豆の栽培や校区探検、地域探訪遠足などを行いながら、ふるさとの地域資源を活用した学習を進めている。

所 在 地　丹波篠山市黒田１８６

丹波市立和田小学校

教育目標　和田に誇りを持ち、自立して未来を創る和田っ子の育成
～ 心豊かに　たくましく　学び続ける　和田っ子に ～

創　　立　明治６年　大成・静行・正晴・得精・卓立の五舎が創立・開校

児 童 数　１８８名

特　　色　豊かな自然、地域資源、愛情あふれる地域の人々に包まれた環境の中で、学びに向かい 自らを伸ばそうとする和田っ子、人と関わり つながりをつくろうとする和田っ子、和田を愛し、伝統を創り続けようとする和田っ子の育成をめざして取り組んでいる。

所 在 地　丹波市山南町和田１

丹波市立三輪小学校

教育目標　自ら考え思いを伝え合える美和っ子の育成
～ふるさと美和で育む自立と協働～

創　　立　明治７年３月５日

児 童 数　８６名

特　　色　三輪小学校では、「人・もの・こと」から学ぶことを大切にして、地域の方と一緒にふれあう七夕集会やしめ縄づくり、田植え・稲刈り、枝豆づくりなどの農業体験や生き物調査などを実施し、ふるさと美和で育む自立と協働を目指しています。

所 在 地　丹波市市島町酒梨２０５

【発表動画については、丹波教育事務所ホームページで公開しています。】

丹波教育事務所HP ⇨ 丹波地域まちの自慢発信事業

[発行・編集]
兵庫県丹波県民局
〒669-3309　兵庫県丹波市柏原町柏原688
TEL 0795-73-3718　FAX 0795-72-3077
兵庫県教育委員会丹波教育事務所
〒669-2341　兵庫県丹波篠山市郡家451-2
TEL 079-552-7486　FAX 079-552-6034
URL http://www.hyogo-c.ed.jp/~tanba-bo/
[発行日]　令和７年３月

丹 波 の 森

06丹波 Ⓟ 2-007A4